

開講科目名	卒業研究		
担当教員	建築学各教員	開講区分	単位数
		通年	10単位

授業のテーマと目標

卒業研究は、学習・教育の総まとめであり、その目的は、各自の研究テーマに関連した事前の調査、研究計画の立案、研究成果の整理、分析と考察、そしてプレゼンテーションにいたる、一連の研究の方法を実習し体得することである。なお、卒業論文もしくは卒業設計のどちらか一方を選択して行う。

到達目標：

卒業研究に着手する際に、指導教員の研究室に配属される。ここでは、教員による個別指導や学生による自主的な勉学、共同研究や研究室内での人間関係を通じた人間性、社会性の修得、研究テーマの設定から研究の具体的な進め方、研究結果のとりまとめとソノプレゼンテーションといった、研究にかかる一連の流れを発展させていく能力の滋養を目標としている。さらに卒業研究終了時の研究発表会は、創造性の教育、総合性の教育の成果と卒業研究の学術的成果を確認する場となる。

授業の概要と計画

3年次までの講義や演習等で習得してきた知識をもとに、卒業研究では、それぞれが独自性ある研究テーマに取り組み、建築学の間口の広さとともに奥行きを深さを実感することとなる。研究は、配属された研究グループにて行う。テーマの設定や研究の進め方については、研究グループの教員との討議を通じて決定される。3年次までの座学的な進め方ではなく、学生による主体的な取り組みが強く求められることに留意する必要がある。

研究グループと研究内容は、3年次の後期に発表される。研究成果は「論文」もしくは「設計」、および「要旨」として提出し、発表会においてプレゼンテーションを行う必要がある。

授業の進め方：

学生は1つの研究グループに所属して指導を受ける。所属する研究グループによって、研究テーマや方法などが異なるが、日々の研究を中心に、文献講読や各学生による研究計画等の発表と討議を行うことが多い。

成績評価方法と基準

所属する研究グループにおける研究への取りくみとともに、卒業研究における下記の諸点を総合的に評価する。

- 1) 調査する能力
- 2) 課題や問題を提起する能力
- 3) 研究計画を立案する能力
- 4) 研究にかかる諸課題を解決する能力
- 5) 結果等を整理・考察する能力
- 6) 文章や図面等での確にプレゼンテーションする能力

履修上の注意(関連科目情報等を含む)

卒業研究を履修しようとする学生は、別途、内規により定めた申請条件を満たし、研究グループに配属されること。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワーの日は授業開始時に通知します。

学生へのメッセージ

テキスト

参考書・参考資料等